

## 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業評価書について

平成30年度において、特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条）により完了した事業に係る事業評価を公表いたします。

- ・町道64号線整備工事
- ・交通安全対策工事
- ・体育施設関連備品購入
- ・マルチメディアセンター備品購入
- ・水釜第三幹線管渠改修工事
- ・町道64号線配水管布設替工事

詳細は [H30 事業評価書](#) をご覧ください。

【お問合せ先】嘉手納町役場 企画財政課 企画推進係 TEL:098-956-1111 (内線:232)

事業評価書

補助事業名	町道64号線整備工事						
補助事業者名	嘉手納町長						
実施場所	嘉手納町字水釜地内						
補助事業の成果の目標	町道64号線は、昭和50年度に整備した路線であり、現在、老朽化によるアスファルトのひび割れ、不陸及び側溝の破損が多く見られる。そのようなことから、本事業で当該道路を整備することにより、地域住民の安全で円滑な道路交通を確保することを目標とする。						
補助事業の内容	整備工事 町道64号線 L=186m W=5.0m						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成30年度まで						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度				計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	4,687,200	28,080,000				32,767,200
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【道路環境の向上についての成果及び評価】 道路環境の向上を図り、地域住民の生活環境の改善について、地域住民にアンケート調査を行った結果、この道路の整備状況に満足していますかとの問いに「満足・やや満足」との回答が多く得られたことから成果目標は達成できたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施済】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 町ホームページへ掲載</li> <li>2) 工事看板へ記載</li> <li>3) 町広報誌2019年11月に掲載</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安心・安全の道路交通を確保するため、現状を確認し、問題箇所があれば随時対策していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	交通安全対策工事						
補助事業者名	嘉手納町長						
実施場所	嘉手納町字嘉手納地内						
補助事業の成果の目標	町道4-1、36、50号線は通学路になっており、児童生徒の往来があるが歩行帯が整備されておらず、また、町道54号線は見通しの悪い交差点が複数箇所あり、交通事故多発地帯となっている。 そのため、地域住民より歩行者の安全確保の対策が求められている状況である。 このことから、事業により、道路片側及び交差点のカラー舗装を行うことで、通行車両に対し当該箇所を明確に示し、歩行者の安全確保を図る。						
補助事業の内容	カラー舗装工 A=754㎡ 区画線工 L=950m						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	12,150,000					12,150,000
	交付金額	12,000,000					12,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【道路環境の向上についての成果及び評価】 道路環境の向上を図り、地域住民の生活環境の改善について、地域住民にアンケート調査を行った結果、この安全対策事業の満足度に「満足・やや満足」との回答が多く得られたことから成果目標は達成できたと考える。 【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施済】 1)町ホームページへ掲載 2)町広報誌2019年11月に掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安心・安全の道路交通を確保するため、現状を確認し、問題箇所があれば随時対策していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	体育施設関連備品購入						
補助事業者名	嘉手納町長						
実施場所	嘉手納町字屋良地内						
補助事業の成果の目標	<p>嘉手納町陸上競技場は、町の陸上競技大会等を始め各種団体の練習や合宿等で幅広く利用されているが、備品及び放送機器の老朽化により、大会運営やサービス提供に支障が生じている。また、嘉手納町スポーツドームにおいては、現在、整備後15年が経過しており、備品の経年劣化によって利用者の事故や怪我に繋がる恐れもあることから、早急な更新を求められている。さらに、スポーツドーム2階にあるトレーニングルーム利用者からは新機種導入の要望が多く寄せられており、施設のさらなる機能向上を図る必要がある。</p> <p>このことから、本事業で備品及び放送機器の更新を行い、施設のサービスの向上を図ることで利用者の健康及び体力の増進に寄与するものである。</p>						
補助事業の内容	<p>陸上競技場備品購入          ・ハードル60台 ・ハードル運搬車2台 ・砲丸2個 ・やり2本          ・踏切板、踏切板ボックス角材3台          陸上競技場放送機器          ・パワーアンプ1台 ・コンパクトミキサー1台 ・卓上型アンプ1台 ・スピーカー1台          ・ワイヤレスマイク2本 ・ワイヤレスマイク(タビオン型)2台 ・壁取付ワイヤレスアンテナ2台          ・ワイヤレス受信機1台          スポーツドーム備品購入          ・スミスマシン1台 ・アジャスタブルベンチ1台          ・人工芝用ラインテープ(幅75mm)6巻、(幅50mm)34巻、(フットサル用2面)2面</p>						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
	事業費	6,620,400					6,620,400
	交付金額	6,500,000					6,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【事業の成果及び評価】          ・整備後、体育施設(陸上競技場、スポーツドーム)利用者にアンケート調査を行った結果、施設の改善が図られたかの問いに「良くなった・やや良くなった」との回答が多く得られたことから、成果目標は達成できたと考える。</p> <p>【地域住民への周知】          1)町ホームページへ掲載。          2)町の広報誌2019年11月号に掲載。          3)備品に「平成30年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」とシールを貼付。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	長期に渡り器具等を使用するために、利用者に対し適切な使用方法について指導を行い利用させる。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	嘉手納町マルチメディアセンター備品購入						
補助事業者名	嘉手納町長						
実施場所	嘉手納町字嘉手納地内						
補助事業の成果の目標	<p>嘉手納町マルチメディアセンターは、パソコン広場や研修室を提供し、資格取得に向けたパソコン講座の実施や、講座で習得した技術の活用、スキルアップ等を目的に、平成13年に整備された施設である。</p> <p>現在、導入されているパソコン等機器について、経年劣化による故障や動作の不具合等が多発しており、利用者が円滑に利用できないなど施設運営に支障を来している状況である。</p> <p>このことから、本事業により機器を更新することで、円滑な施設運営を確保し、各種講座等の受講やパソコン利用の場を提供する。</p>						
補助事業の内容	パソコン 30台 サーバー 1式 プリンター 2台						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
	事業費	8,027,424	円	円	円	円	円
	交付金額	8,020,000					8,020,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>利用者にアンケート調査を行った結果、ソフトの稼働速度が上昇しスムーズに作業が行えるようになったという声が多数上がっており、満足しているとの回答を多く得られていることから、本事業の成果を得られたものと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町ホームページへ掲載済</li> <li>・町広報誌へ掲載済（広報かでな11月号）</li> <li>・各機器へ「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と表示済</li> </ul>						
事業の改善措置及び今後の対応	研修室を活用した自主事業等が少なかったことから、今後は、就職に有利な資格取得を目指すための基礎的な講座から、資格取得までをカリキュラムとした講座を展開し、より受講者のスキルアップを支援できる講座の運営を目指す。パソコン広場についても利用者が常時円滑に機器を利用できるようにアンケート等を実施や窓口での聞き取りを行う。また、定期的な保守点検を導入し、故障・不具合等に迅速に対応できるよう配慮する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	水釜第三幹線管渠改修工事					
補助事業者名	嘉手納町長					
実施場所	嘉手納町字水釜・兼久地内					
補助事業の成果の目標	<p>本町の公共下水道事業は、昭和46年に着手し、水釜第三幹線については、兼久中継ポンプ場へ接続する重要な幹線として昭和53年度に整備されている。近年、下水道施設の老朽化が原因による管渠のたわみ、扁平及び破損等が生じ、地域住民への悪影響が懸念されている状況である。</p> <p>このことから、本事業により下水道施設を改修し、また、あわせて耐震性の高い管渠に替え、安定的な排水機能の確保を図るものである。</p>					
補助事業の内容	改修工事 L=1437.50m					
補助事業の始期及び終期	平成29年度（繰越）から平成30年度					
事業費及び交付金額		平成29年度（繰越）	平成30年度			計
	事業費	103,286,880	54,540,000			157,826,880
	交付金額	88,560,000	54,540,000			143,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>安定的な排水機能の確保について          本事業により全ての下水道幹線が耐震管となり、安定的な排水機能を確保することが出来たことから本事業による成果を得られたものと評価した。</p> <p>地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のとおり周知した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 工事看板へ記載</li> <li>2) 町ホームページへ掲載済</li> <li>3) 町広報誌へ掲載済</li> </ol>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も排水機能保持のため定期的な維持管理に努めていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	町道64号線配水管布設替工事					
補助事業者名	嘉手納町					
実施場所	嘉手納町水釜地区					
補助事業の成果の目標	<p>近年、水道事業においては東日本大震災を教訓とした災害対策の強化が求められており、当町においても生活基盤である水の確保の重要性に鑑み、耐震化整備がなされていない配水管の整備を早急に必要な実施する必要がある。</p> <p>本事業において、地震等災害時の水道施設被害を未然に防止し、安定的なライフラインを確保することで、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>					
補助事業の内容	配水管布設替工事 HPPE φ75mm L=189m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		平成30年度				計
	事業費	7,020,000	円	円	円	円
	交付金額	7,020,000				7,020,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>安定的なライフラインの確保について                      本事業により全ての管路が耐震管となり、安定的なライフラインを確保することが出来たことから、本事業による成果を得られたものと評価した。</p> <p>地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のとおり周知した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 工事看板への記載</li> <li>2) 町ホームページへ掲載</li> <li>3) 町広報誌掲載済</li> </ol>					
事業の改善措置及び今後の対応	安全で安心な飲料水を供給するために、引き続き管路の更新と併せて耐震化を行い、災害に強い水道施設の整備を促進する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					